

HP BladeSystem Matrix参照テンプレートキット for Citrix XenAppのHP Insight Dynamics インフラストラクチャオーケストレーションへの インポート

テクニカルホワイトペーパー

目次

エグゼクティブサマリー.....	2
概要.....	2
リソースプールの要件.....	2
ネットワーク要件.....	2
ストレージプール要件.....	2
サーバープール要件.....	3
テンプレートのインポート.....	3
テンプレートのダウンロード.....	3
テンプレートのインポート.....	3
ネットワーク設定の編集.....	8
テンプレートの保存および公開.....	10
サービスの作成.....	10
まとめ.....	12
詳細情報.....	13



エグゼクティブサマリー

IT部門にとって、インフラストラクチャのプロビジョニングは、時間がかかり、多大な労力を必要とする作業になる場合があります。事業部署、アプリケーション所有者、または開発部門からリソースを要求されるたびに、長時間にわたるプロセスが始まります。IT専門担当者は、システム要件を確認し、ソリューションを最初から設計し、現在利用可能なリソースと調達しなければならないリソースを特定する必要があります。そこで、HP Insight Dynamicsを使用することで、IT部門は、セルフサービス方式のポータルを使用して共有リソースのプールからインフラストラクチャを一貫性のある方法で自動的にプロビジョニングできるようになります。単一の仮想マシンから、物理と仮想のサーバーおよびストレージシステムによる多層環境まで、さまざまなリソースを迅速にプロビジョニングできます。

HPでは、HP Insight Dynamicsインフラストラクチャオーケストレーションを使用して、特定のXenAppインフラストラクチャ用の一連のサーバーを繰り返し可能な方法で自動的に素早くプロビジョニングすることに主眼を置いた、Citrix XenApp環境用の参照テンプレートアーキテクチャを作成しました。このホワイトペーパーでは、「Citrix-XenApp」テンプレートを参照アーキテクチャからターゲットシステムにインポートし、使用できるようにカスタマイズするプロセスについて説明します。この参照アーキテクチャについて詳しくは、HPのWebサイト www.hp.com/go/matrixtemplates (英語)にあるホワイトペーパー『Citrix環境におけるHP Insight Dynamics – XenAppインフラストラクチャのプロビジョニング』および『HP BladeSystem MatrixのCitrix XenApp環境に関する検証』を参照してください(これらのホワイトペーパーには、インストールや設定に関する詳しい情報も記載されています)。

対象読者:本書は、HP BladeSystem Matrixテンプレートキットfor Citrix XenAppをインストールするシステム管理者、Citrixコンサルタント、およびその他の熟練ユーザーを対象としています。また、BladeSystem Matrixのコンポーネントに関する専門知識があることを前提としています。

概要

テンプレートキットは、2ノードのXenApp環境とMicrosoft® Windows®ドメインコントローラーとして使用する追加のサーバーをデプロイするテンプレートを提供します。

なお、本書では、ひとつひとつの操作手順については詳しく説明していません。詳細は、HP Insight Dynamicsのユーザーガイドを参照してください。

注:

HP Insight Dynamicsインフラストラクチャオーケストレーションは、以前はHP Insight Orchestration (HP IO)と呼ばれていました。

リソースプールの要件

ネットワーク要件

Citrix XenAppのインストールの標準要件には、3つのネットワークへのネットワーク接続が含まれます。3つのネットワーク接続とは、パブリックネットワークへの接続を持つ実務ネットワーク (prod)、サーバーデプロイ用の内部ネットワーク (deploy)、および管理用ネットワーク (mgmt) です。HPバーチャルコネクトネットワークに異なる命名規則を使用することは可能ですが、テンプレートを更新する必要があります。

ストレージプール要件

テンプレートは、次のデータストレージを使用します。

3つのノードのそれぞれに10GB以上のブートディスク

サーバープール要件

XenApp環境の規模によっては、適切なサーバーが含まれたサーバープールを定義します。このテンプレートでは、2台のXenAppサーバーは、1GHz以上で動作する2基以上のCPUと8GBのメモリを必要とします。ドメインコントローラーは、2GHz以上で動作する1基以上のCPUと16GBのメモリを必要とします。XenAppサーバーを検証するために、追加の2つの仮想マシンがクライアントとして使用されました。これらの属性は、環境に合わせて変更できます。実際の環境に固有のサイズ要件については、HPにお問い合わせください。

テンプレートのインポート

この項では、ダウンロード可能なテンプレートをインポートしてカスタマイズするプロセスについて説明します。

テンプレートのダウンロード

HPのWebサイト<http://www.hp.com/go/matrixtemplates> (英語)にアクセスしてください。下方向にページをスクロールし、[Citrix]の下にある[Citrix XenApp Matrix ISV Application Template] (zipファイルのリンク)を選択します。このzipファイルをダウンロードし、適切なディレクトリに展開します。

このファイルには、次のファイルが含まれています。

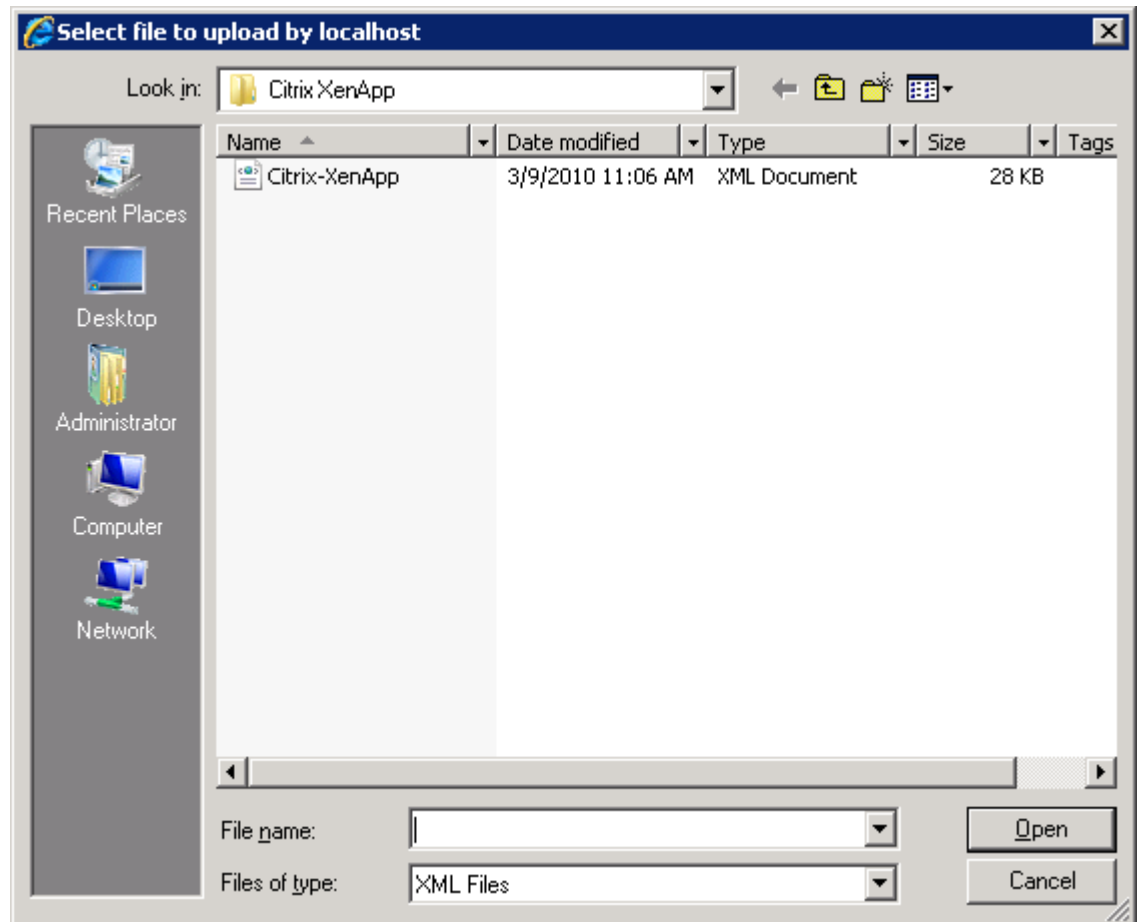
- HP Insight Dynamicsインフラストラクチャオーケストレーションテンプレート (ファイル名はCitrix-XenApp.xml)
- readmeファイル

テンプレートのインポート

HP Insight Dynamicsインフラストラクチャオーケストレーションデザイナーで、次の図に示されている[インポート]ボタンを選択します。

次のダイアログボックスが表示されます。

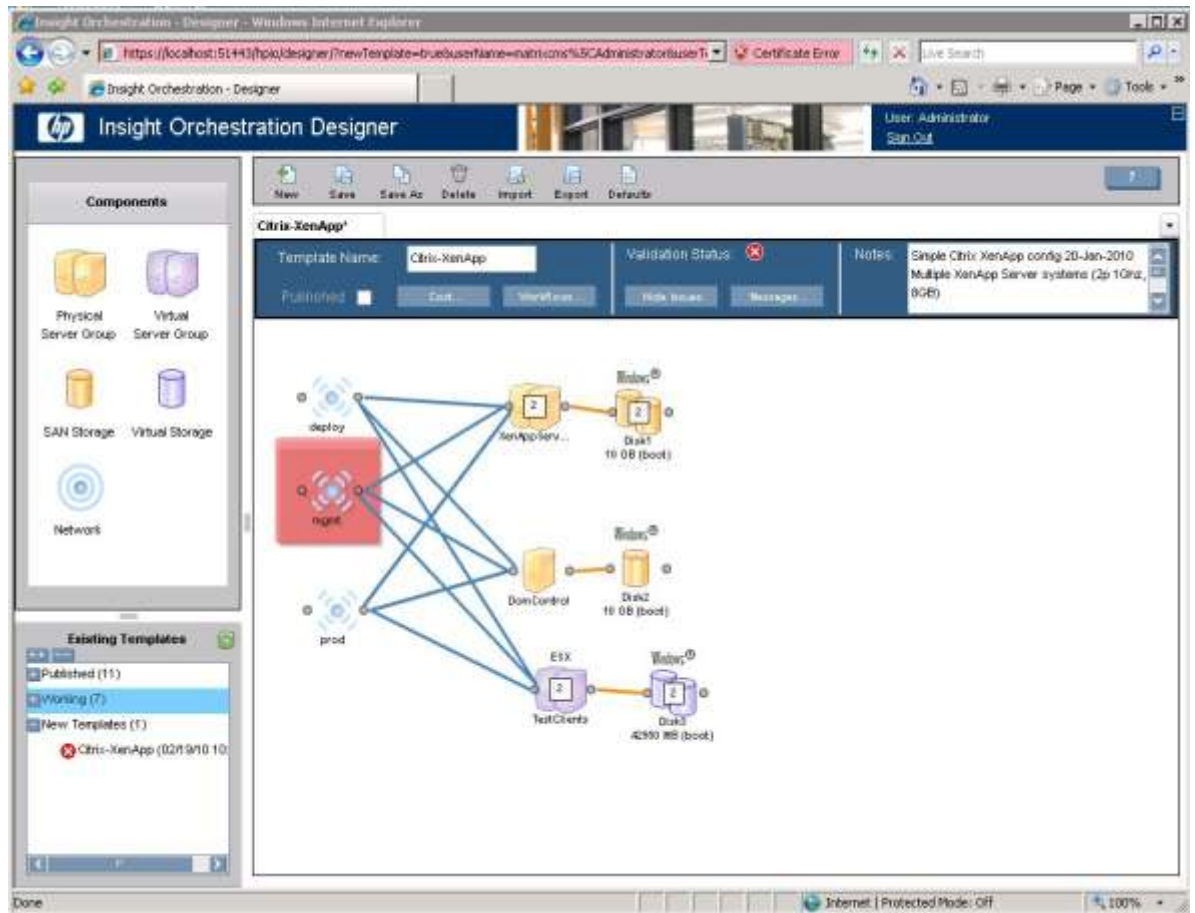
図2. Citrix-XenApp.xmlの参照テンプレートの選択



ダウンロードしたファイルを探して選択し、[開く]を押します。これにより、テンプレートがInsight Dynamicsにインポートされます。必要なソフトウェアがCMS¹にないことを示すエラーメッセージや警告が表示される場合がありますが、これは問題ありません。実際の環境で利用できるように、オペレーティングシステムソフトウェアを再設定する必要があります。HP Insight Dynamicsのマニュアルを参照してください。インポートが完了すると、図3に示されているようなテンプレートが表示されます。

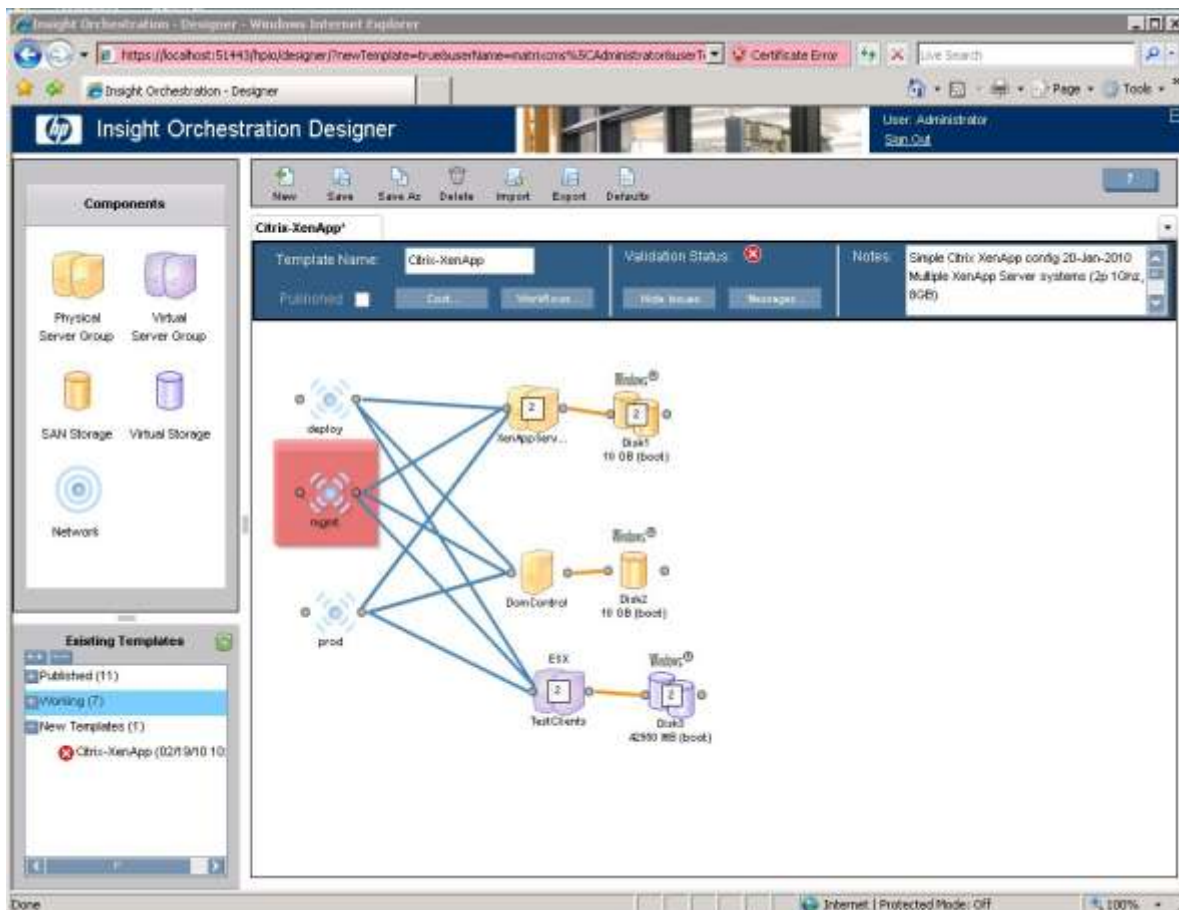
¹ HP Systems Insight Manager (SIM) の中央管理サーバー

図3. インポート後のテンプレート



[有効性確認ステータス]がエラーを示していることを確認してください(図4)。[問題の表示]ボタンを選択すると、注意を必要とする領域が強調表示されます。

図4. よく注意する必要がある領域

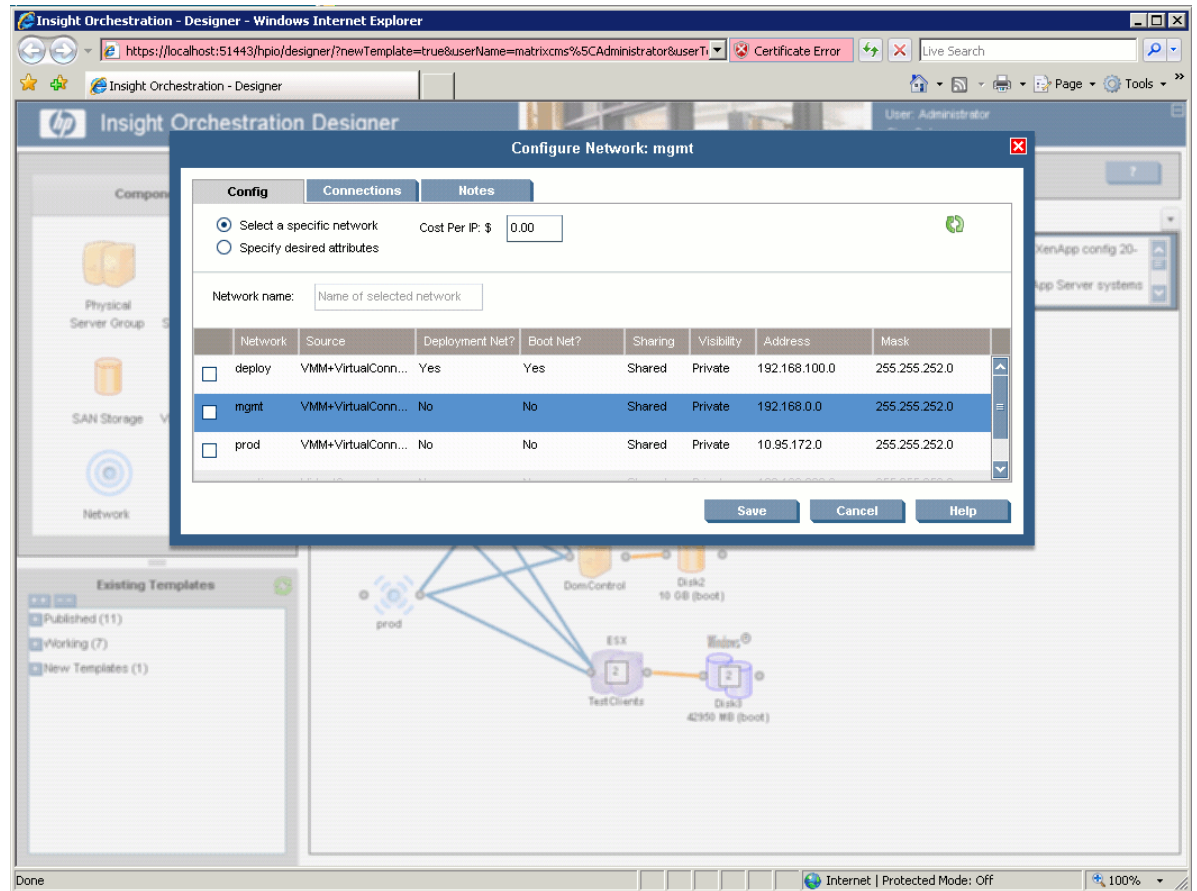


この場合は、1つのエラー(赤色)に注意が必要です。構成によっては、ストレージまたはOSプロファイルに関連する警告(黄色)も表示される場合があります。その場合は、テンプレートで定義されているネットワークがターゲットシステムに存在しないため、そのネットワークをサイトの既存のネットワークに割り当てる必要があります。環境に合わせて変更しなければならない他のネットワークに関して、同様のエラーが表示される場合もあります。ここで、ネットワークに関する問題を解決するために必要な手順について説明します。他のすべてのエラーおよび警告メッセージについても、このテンプレートをデプロイする前に対処する必要があります。詳しくは、HP Insight Orchestrationのユーザーガイドを参照してください。

ネットワーク設定の編集

ネットワーク設定に対処する方法について説明します。ネットワークアイコンを右クリックして、[ネットワーク設定の編集]を選択してください。

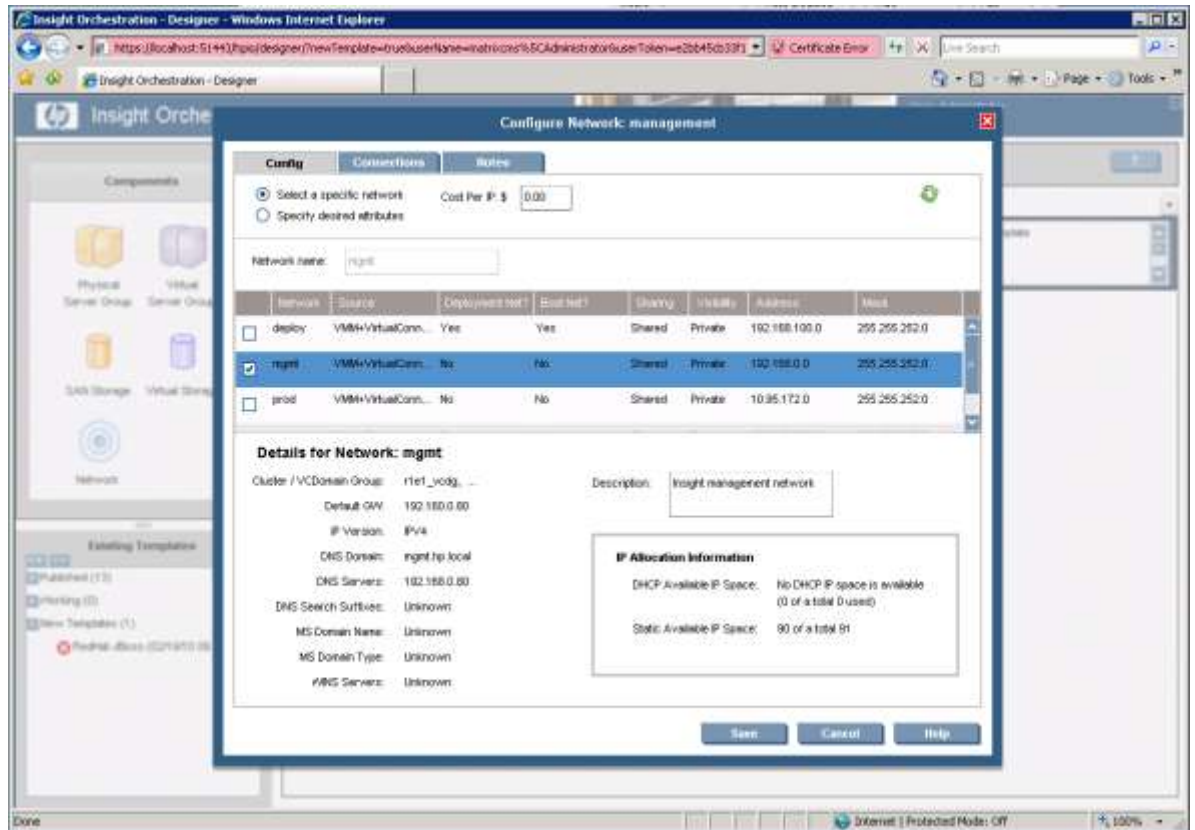
図5. ネットワークの設定



ネットワーク設定ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、このテンプレートのデプロイに使用する、自身のサイトのネットワークを指定します。[特定のネットワークの選択]ラジオボタンをクリックします。サイトで設定されているすべてのネットワークが表示されます。このテンプレートのために使用するネットワークを選択します。

下に示すように(図6)、ネットワークを選択すると、そのネットワークの詳細情報がダイアログボックスに表示されます。この情報には、このネットワークのアドレスプールで利用可能な静的または動的アドレスの数(IP割り当て情報)が含まれます。

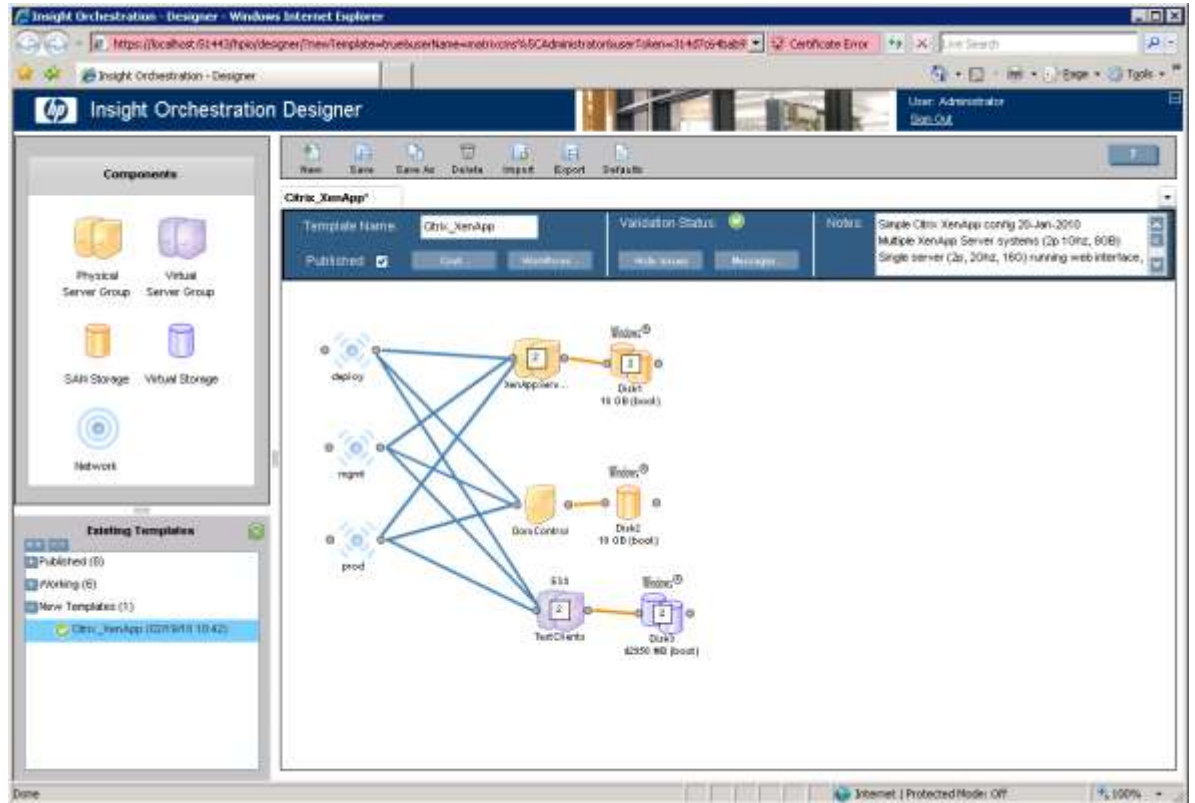
図6. ネットワークの詳細情報



テンプレートの保存および公開

テンプレートの[有効性確認ステータス]が緑色になったら、テンプレートを保存して公開できます。ユーザーがすぐにわかるよう適切な名前をテンプレートに付け、このテンプレートを選択する際にユーザーが判断しやすいように[メモ]にコメントを挿入します。[公開]の隣にあるチェックボックスをクリックしてテンプレートを保存します。

図7. テンプレートの公開



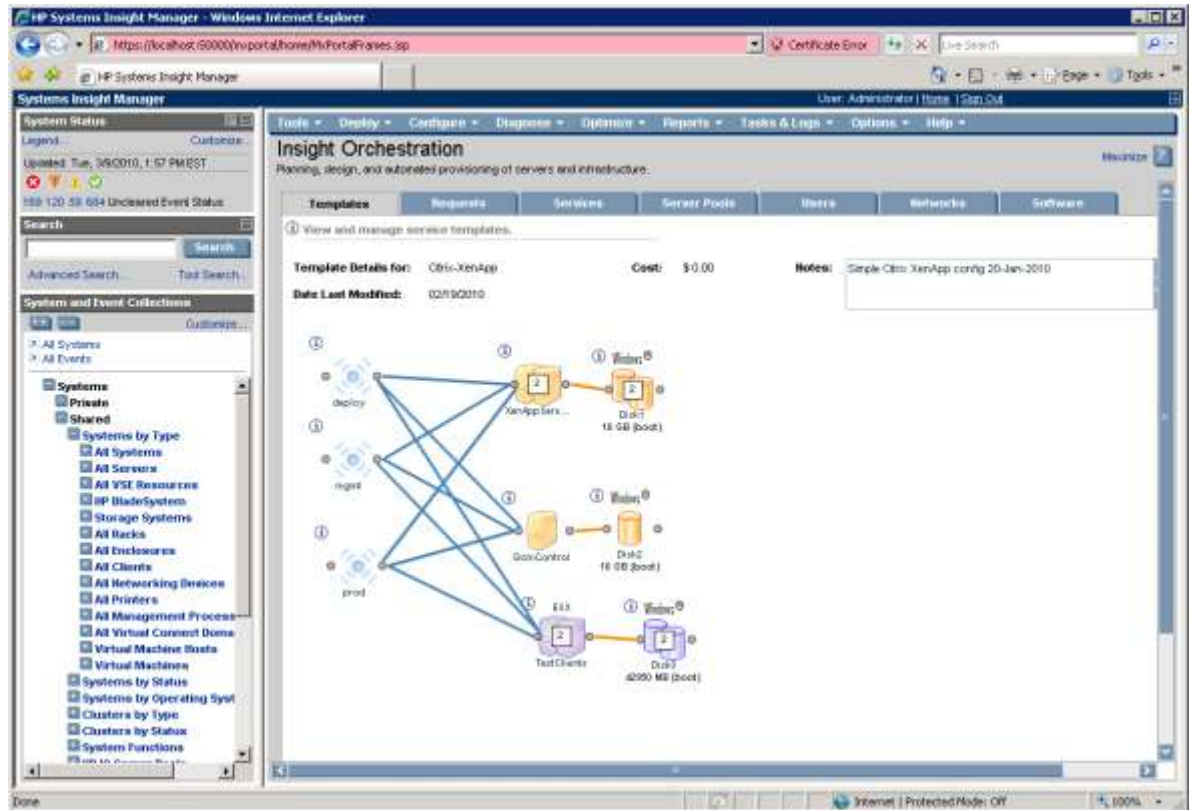
以上で、ユーザーがInsight Dynamicsインフラストラクチャオーケストレーションのユーザーポータルからテンプレートを選択してデプロイできるようになります。

サービスの作成

テンプレートの編集が完了し、サーバーおよびストレージプールを作成したら（詳しくは、『[Citrix環境におけるHP Insight Dynamics — XenAppインフラストラクチャのプロビジョニング](#)』および『[HP BladeSystem MatrixのCitrix XenApp環境に関する検証](#)』を参照）、サービスを作成することができます。

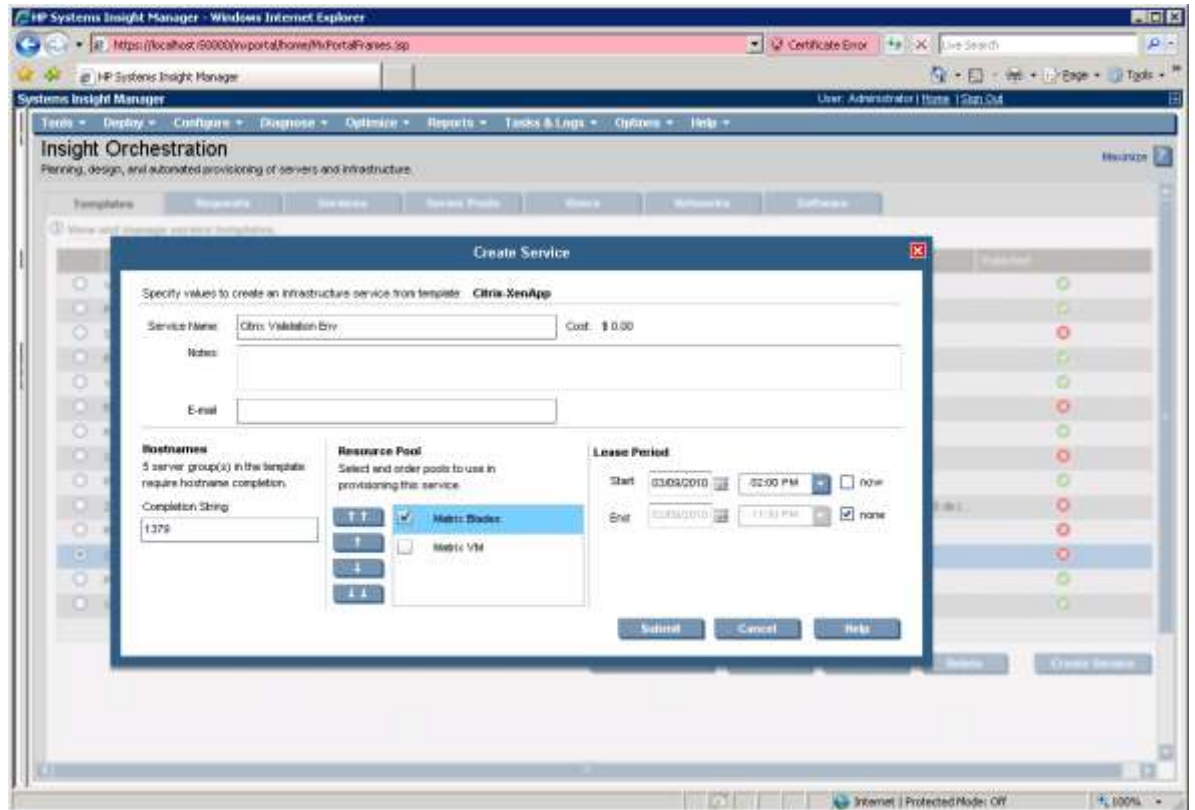
インフラストラクチャオーケストレーションのセルフサービスポータルを起動すると、ユーザーに「Citrix-XenApp」を含む利用可能なサービスのリストが提供されます。サービスを選択して[詳細の表示]をクリックすると、図8に示すようなサービスの詳細情報が表示されます。

図8. サービスの詳細情報



サービスを作成するには、サービスの概要が示されている画面でサービスを選択し、[サービスの新規作成]をクリックします。表示されるウィンドウ(図9)で、サービス名を入力し、利用可能なブレードサーバーが含まれているリソースプールを選択する必要があります。サービス作成要求を送信するために、[発行]を選択する前に[リース期間]でリース期間を選択する必要があります。

図9. サービスの作成



まとめ

実際の環境でサーバーをインストールするためには、Citrix-XenApp用に2台のサーバーをデプロイするための参照テンプレートが出発点になります。本書に示されている情報と技術を使用して、実際の環境で使用するための参照テンプレートをカスタマイズするプロセスを開始することができます。

詳細情報

『Citrix環境におけるHP Insight Dynamics — XenAppインフラストラクチャのプロビジョニング』	HPのWebサイト http://h50146.www5.hp.com/products/servers/proliant/whitepaper/wp124_1011/index.html
『HP BladeSystem MatrixのCitrix XenApp環境に関する検証』	HPのWebサイト http://h50146.www5.hp.com/products/servers/proliant/whitepaper/wp126_1011/index.html
HP Insight Dynamics for ProLiant	HPのWebサイト http://www.hp.com/jp/insightdynamics
Insight Dynamicsインフラストラクチャオーケストレーション	HPのWebサイト http://www.hp.com/jp/insightorchestration
HP Insight Orchestrationのユーザーガイド	HPのWebサイト http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/proliant/soft.html#VSE
HP Converged Infrastructure	HPのWebサイト http://www.hp.com/jp/ci
HP BladeSystem	HPのWebサイト http://www.hp.com/jp/bladesystem
HP BladeSystem Matrix	HPのWebサイト http://www.hp.com/jp/matrix

本書に関するフィードバックは、HPのWebサイトhttp://h20219.www2.hp.com/ActiveAnswers/us/en/solutions/technical_tools_feedback.html (英語)までお寄せください。



© Copyright 2010 Hewlett-Packard Development Company, L.P. 本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft Corporationの米国における登録商標です。

4AA1-1610JPN (2010年10月作成)

